



とつきようの

第101号 中学校版 平成26年1月

東京都教育委員会

ホームページ http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/

東京都教育委員会(教育庁)では、都民のみなさまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お客せください。

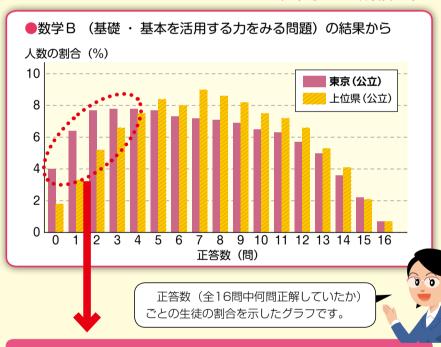
できないこと、わからないことを そのままにしていませんか?

平成25年4月24日、文部科学省が中学校3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」(国語・数学の2教科と、 生活習慣や学習環境等についての調査)を実施しました。調査の結果から、東京の子供たちは2教科とも、全都道府 県中で上位3割以内のグループに位置していることが分かりました。

東京の子供たちの課題も明らかになっています。

「できない」「わからない」を解消することが大切です。 間違えた問題をやり直し、

◆東京より成績上位のある県と比較すると…



成績上位の他の県と比べると、東京は下位層の生徒(正答数 が少ない生徒)の割合が多いことが分かります。

●児童 ・ 生徒質問紙調査 (アンケート)結果から 「家で、テストで間違えた問題について勉強していますか」

Ф 3		東京の2教科の	
上位県	東京	正答率(平均)	
24.4%	10.3%	⇒ 71.4%	
41.0%	26.0%	⇒ 68.4%	
27.5%	38.2%	⇒ 64.0%	
6.6%	24.9%	⇒ 58.2%	
	24.4% 41.0% 27.5%	上位県 東京 24.4% 10.3% 41.0% 26.0% 27.5% 38.2%	

※無回答を除く

「している」と回答した東京の生徒の国 語・数学合計の正答率は71.4%、「全く していない」と回答した生徒の正答率は 58.2%となっています。

東京は、復習をしている生徒が、成績上位の他の県に比べて少な いことが分かります。また、復習せずに間違えた問題を分からない ままにしている生徒ほど、教科の正答率が低い傾向が見られます。



その学年で学習する内容を十分に理解しないまま進級したために、 次の学年での学習に支障を来たしている生徒が多くいます。





東京都教育委員会は、「できる」「わかる」ようにする指導を徹底していきます。

●みんな満点プロジェクトとは

教科書の例題にあるような、各教科の基本となる問題について、義務教育修了までに 東京都の全ての子供が「できる」「わかる」ようにするための取組です。

◆ 学習内容をどの程度身に付けているかを把握

都独自の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施し、よりきめ細かく子供たちの 課題を明らかにするとともに、学校が取り組むべき課題を示して授業改善を図ります。

◆ 分からないところに立ち戻る指導の徹底

分からなくなったところまで立ち戻って、丁寧に教える指導の徹底を図り、「やればできる」 という自信と意欲を、全ての子供にもたせます。

◆ 効果的な指導方法や教材の開発を推進

小学校4年生までの基礎的・基本的な内容を繰り返し学習できる都独自の教材「東京ベーシッ ク ・ドリル」を作成します。また、子供たちの習熟の程度に応じた習熟度別指導を推進します。 残りわずかな中学校生 活を有意義に過ごすた めには…?

次ページをご覧ください。



こちらの音声コードで、このパンフレットの 内容を音声で聞くことができます。

この印刷物には、視覚に障害 のある方への情報提供の手 段として、音声コードを添付 しています。

音声コードは、活字文書読上 げ装置で読み上げることが できます。



卒業まであと少し。毎日を有意義に過ごそう!

生徒質問紙調査 (アンケート) 結果から

▶「家で、自分で計画を立てて勉強しているか」という質問に対する回答状況と、 平均正答率との関係(東京都)

どちらかといえば あまりしていない 全くしていない している している 回答状況 15.4 30.3 36.1 18.1 72.5 国語A 80.3 79.2 76.9 国語B 73.8 72.2 68.7 62.2 数学A 70.2 68.0 64.3 58.4 36.3 数学B 49.3 46.1 41.8

例えばこの2つの数字は、「『自 分で計画を立てて勉強していな い』と答えた生徒は全体の18.1% いて、その生徒たちの数学Bの正 答率は36.3%である」というこ とを示しています。

「自分で計画を立てて 勉強しない」生徒は、 正答率が低い

● 国語A・数学A…主として「知識」に関する問題

● 国語B・数学B…主として「活用」に関する問題

「できない」「わからない」を、今、なくそう



進路も決まったし、卒業までのんびり過ごすぞ。

でも、あと少しでこれまでと違う新しい生活 が始まるよね。このままのんびりしていていい のか、ちょっと不安だな。





たしかにそうだな。 今のうちに、苦手なところを克服しておいた ほうがいいよね。

「自分で計画して自分で実行できる」ように なって、進路先でも時間を上手に使って充実し た生活を送れるようになろうね。



進路先で「できない」「わからない」ことが繰り返 されないよう、中学校での「できないこと」「わから ないこと」を、今、解消しておきましょう。

そのためには、時間を上手に使って、 自分で学習計画を立てて、自主的に学 習に取り組むことが大切です。



計画的に学習に取り組もう

学習の計画を立てるときは、「何時から何時まで」と時間で 決めるのではなく、「この日のうちに何をどこまでやる」とい う具体的な内容を決めましょう。

自分のペースを考えて、やり遂げられる量で計画を立て、 慣れてきたら少しずつ量を増やしていくとよいでしょう。 また、「その日に学校で学習したことは、その日のうちに絶対 に身に付ける」という意識をもって取り組むことも大切です。

家庭では

「進路先で一番やってみたいことって、なに?」「○○の 科目が好きだったら、将来こんな方面の仕事もできそうだ ね。」など、お子さんと話をする機会を持ってみてください。 保護者との会話が、お子さんにとって目的を意識するきっか けになります。

目的を持つことが、「では、今な にをすればいいのか。」と自主的に 計画を立てることにつながります。

お子さんが計画的に自主学習す ることができるよう、良きサポー ターになってあげてください。

昨年11月に実施された 「高校生書評合戦首都大会2013」準決勝 ・決勝には、東京都に加えて、埼玉県、千葉県、神奈川県から、そ れぞれの予選大会を勝ち抜いた高校生と、北海道夕張高校の代表を合わせた30名が出場しました。

成城高校の宮下凌輔さん (東京都代表)が書評したゲーテ著 「ファウスト」(集英社)が、グランドチャンプ本に選ばれ、市川高校 の前野陽さん(千葉県代表)が書評した鴻上尚史著「パレード旅団」(白水社)は、特別賞を受賞しました。

都立高校からは、準決勝に10名が出場しました。決勝には都立小松川高校の前田桃子さんと都立三田高校の新妻大空さんが進出し、 個性豊かな書評を繰り広げました。

詳細は、ホームページをご覧ください。

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/shohyo2013.htm



※「ビブリオバトル」とは、発表者たちが読んで面白いと思った本を持って集まり、一人5分間で本を紹介した後、参加者全員で2~3分間のディスカッションを 行い、「どの本が一番読みたくなったか」を基準として投票を行って最多票を集めたものを「チャンプ本」として決定する、新しいスタイルの書評合戦です。

~学校からいじめをなくすために~

いじめは、いじめを受けた子供の心に長く深い傷を残すものであり、どの学校にもどの学級にも起こり得るものであるという認識の下、学校は、未然防止に努め、いじめを発見した場合には速やかに対応する必要があります。東京都教育委員会では、平成24年10月に「いじめに関する専門家会議」を設置、検討を重ね、平成25年11月に検討結果を公表しました。その中でいじめ問題の対応に当たって念頭に置くこととして、次の四つのポイントを示しました。

教員の指導力の向上と組織的対応

●いじめ問題に組織的に対応するための 「学校いじめ対策委員会」の全校設置 ●「いじめ発見のチェックシート」の活用による確実な発見 ●いじめに関する研修の充実 など

いじめを見て見ぬふりせず、声を上げられる学校づくり

●「いじめに関する授業」の実施 ●いじめに対する具体的な行動の取り方などを記載した「いじめ防止カード」の活用 ●いじめの 撲滅に向けた児童会・生徒会による主体的な取組への支援 など

子供からの声を確実に受け止め、子供を守り通す

- ●子供が学校にいじめの相談をしやすくする 「学校いじめ相談 メール」等の実施 ●スクールカウンセラーによる全員面接
- ●いじめ実態調査等の実施 など

保護者・地域・関係機関との連携

●スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問を通じた家庭状況の把握とケア ●学校便りや保護者会の積極的な活用 ●地域人材を活用した登下校時の見守りの実施 など

報告書の全文を東京都教育委員会のホームページに掲載していますので、ご覧ください。
ホームページアドレス http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr131128c.htm

東京都は、いじめ防止のための条例を制定していくとともに、都民の皆さまのパブリックコメントをいただきながら、東京都いじめ防止等に関する基本方針、いじめの総合対策 (「いじめに関する専門家会議」の検討結果を基に策定)を策定します。

体罰を根絶するための対策を推進していきます!

東京都教育委員会は、体罰根絶に向けて検討を重ね、平成25年9月に、体罰を根絶するための総合的な対策について検討結果をまとめました。その内容を紹介します。

ガイドラインを 策定しました

どのような行為が体罰に当たるのかなどを、具体的に細かく示し、 体罰と不適切な行為を「許されない行為」として明示しました。

行	為の名称	具 体 例 ≪ 抜 粋 ≫
体	罰	骨折・鼓膜損傷等の傷害を負わせる、椅子を投げ当てる、突き飛ばす、頭・ 頬をたたく、長時間正座をさせる 等
不適	不適切な 指 導	手をはたく (しっぺ)、おでこを弾く (デコピン)、小突く、胸倉をつかん で説教する 等
切 な	暴言等	罵る、脅かす、人格 (身体 · 能力 · 性格 · 風貌等) を否定する、集中的 に批判する 等
行為	行き過ぎた 指 導	生徒が心身ともに疲労して勉強する時間がなくなるほど休みなく練習を続け させる、経験したことのない長時間の練習メニューを課す 等
適	切な指導	腕をつかんで連れて行く、体をつかんで軽く揺する、短時間正座させて説諭する、緩慢なプレーや危険な行為を大声で注意する、殴りかかってきた生徒をかわすために押す、校舎から飛び降りようとする生徒を引き倒す 等

総合的な対策の詳細については、東京都教育委員会のホームページをご覧ください。

http://www.kyoiku. metro.tokyo.jp/ press/pr130912e. htm

※ガイドラインは第2章の5に出ています。

体罰を根絶するための 総合的な対策

教員の意識を改革し、児童・生徒、保護者、地域関係者と共に、体罰を「しない、させない、 許さない」という学校風土を作るための方向性を示しました。

(抜粋)

体罰防止に関する 教員研修の徹底

- ■知識理解型から、実践的 ・体験的な研修への転換 (言葉による指導、意欲を高める指導等)
- ●全校で全教職員に対し、年度初めに体罰禁止を徹底

体罰をチェックする 機能の強化

- ●体罰調査の継続実施 (教師への聞き取りや児童・生徒への質問紙調査を基本に実施)
- ●子どもの声が届く相談機能の充実(教育相談センター等相談機関の周知、公益通報弁護士窓□、 スクールカウンセラーなどによる相談体制の整備等)

体罰を容認する風土を 刷新するための取組

- ■体罰根絶の考え方の周知徹底 (職員会議・保護者会などあらゆる機会を利用)
- ●保護者等への学校公開や授業参観の一層の推進

体罰のない部活動の

推進

- Good Coach賞の創設 (生徒の意欲を高める指導をしている顧問を顕彰)
- ●部活動の顧問などに対する指導者講習会の実施





学力向上を目指して

東京都教育委員会委員長 木村 孟

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお 願い申し上げます。

東京都教育委員会は、第3次東京都教育ビジョンの重 要な項目として子供たちの学力の向上を掲げ、様々な施

策を打ち出し、これを実行しております。昨年は4年振りに国による悉皆の 「全国学力・学習状況調査」が実施され、8月27日にその結果が、文部科学 省から発表されました。

それによりますと、小学校については、前回の悉皆調査である平成21年度 の調査結果と同じく、国語A、B、算数A、Bいずれにおいても、東京都の 子供たちの成績は、全国平均を上回っています。

-方、中学校については、平成21年度の調査では、全国平均が、国語 A 77.0点、国語B 74.5点、数学A 62.7点、数学B 56.9点であったのに対し、 東京都は、それぞれ、 77.0点、 73.8点、 62.6点、 56.8点と、国語A以外 の3科目で、全国平均以下となっていました。ところが、今年の調査では、 東京都は全てにおいて全国平均を上回りました。

なぜ、このような結果が出たのかを明らかにするため、現在詳細な分 析を行っているところですが、一言で言えば、ここ数年東京都教育委員 会が推進してきた様々な施策が、統合的効果を上げ始めたためではない かということです。例えば、中学校を対象とする質問紙調査では、「習 熟度に合わせた教材を用いている学校」や 「放課後を利用した補充的な 学習サポートを実施している学校」の割合が、平成21年度の調査と比較 して増加していることが、明らかになっています。

しかし、いまだ問題は残っています。例えば、東京都の中学生に対す る調査結果ですが、「家で、テストで間違えた問題について勉強していま すか」という問いに対し、「している」と答えた生徒の正答率は71.4%、 「全くしていない」と答えた生徒の正答率は58.2%と、大きな差が出て います。要は、復習がいかに重要かということです。ちなみに、上記の 質問に対して、成績上位県の生徒で 「している」と答えた生徒の割合は 24.4%であるのに対し、東京都では10.3%、「全くしていない」と答え た割合は、成績上位県6.6%に対し、東京都24.9%となっています。この 状況が、例えば、数学Bの全16問のうち何問正解したのか、その人数の 割合を示したグラフに如実に現れています。成績上位県では、分布がか なり正規分布に近くなっていますが、東京都の場合には、正答数の少な い側が高くなった歪んだ分布となっています。成績上位県では、16問中、 正答数7、8問の子供たちの割合が9%近くで最も高くなっていますが、 東京都では、正答数2~4問のところが最も高く7.5%に達しています。 つまり、東京都は、成績上位県に比べて下位層が多いということが明ら かになっているのです。

東京都教育委員会では、このような調査結果を踏まえ、子供たちが基 礎的な学力を確実に習得できるよう、個々の学習状況に応じて前の学年 に立ち戻る指導を徹底するなど、効果的な習熟度別指導を全都的に展開 するため、小学校における指導体制の充実を図ります。

学力向上については、やっとその第一歩を踏み出したばかりです。こ の大きなゴールに向けて、皆様の特段のご理解とご協力をお願い申し上 げる次第です。

教育委員会の動き ~平成25年5月から11月までの活動について~

(1) 教育委員会の開催状況

平成25年5月から11月までに、第9回から第19回までの11回の定例会を開催し、57件の議案 と36件の報告について、審議等を行いました。その中から主なものをご紹介します。

- ●平成26年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針について
- ●平成25年度東京都教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 (平成 24年度分) について
- 平成26年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等について

<報告>

- ●平成25年度アスリートの学校派遣事業~夢と未来を結ぶ 「一日校長先生」~の実施について
- ◎学校におけるアレルギー疾患対策について
- ◯体罰根絶に向けた総合的な対策について (部活動指導等の在り方検討委員会報告書)
- ●平成25年度採用前実践的指導力養成講座について
- ○高校生書評合戦首都大会2013について
- ●いじめ問題への対応について
- ◯平成25年度 「児童 ・生徒の学力向上を図るための調査」 (東京都独自の調査) の結果について

(2) その他の活動

- 都立学校の周年行事に出席しました。
- ●調布北高等学校 (木村委員長)
- 雪谷高等学校 (比留間教育長)
- ◯都立学校の校舎落成記念式典に出席しました。
- ●三鷹高等学校 ・三鷹中等教育学校 (竹花委員)
- 「東京都教育の日」推進事業の視察を行いました。
- 小金井市立小金井第一小学校 (木村委員長・竹花委員)
- ●港区立港南小学校 (山口委員)
- ●東京都教職員研修センターで開催した夏季集中講座において、 講演 「体罰に頼らないスポーツ指導」を行いました。(山口委員)

教育委員会は、原則として毎月第2 ・第4木曜日に開催しています。 開催状況・会議録は東京都教育委員会ホームページに掲載しています。



調布北高等学校



9月28日 三鷹高等学校· 三鷹中等教育学校



8月9日 夏季集中講座講演

ノてみよう あなたの心配 東京都教育相談センターのご案内

●教育相談一般●

●外国人児童・生徒相談●

03 (3360) 8008

子育ての悩みや不安、いじめ、不登校など 日:午前9時から午後9時まで 土日祝日:午前9時から午後5時まで

中国語、英語、韓国・朝鮮語の通訳対応 毎週金曜日:午後1時から午後5時まで (受付は午後4時まで)

※上記時間以外は留守番電話及び電子メールによる対応をしています。(年末年始を除く)

●東京都いじめ相談ホットライン●

03(5331)8288(24時間受付)

いじめに悩む子供本人や保護者等からの相談に24時間体制で応じています。

●メール相談●

ホームページ http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp

※ホームページからご利用ください。

東京都教育相談センター

〒169-0074 東京都新宿区北新宿四丁目6番1号 (東京都子供家庭総合センター4階)

電話:03(3360)4172(代表)ファクシミリ:03(3360)4198



<公益通報弁護士窓口>のご案内

- ■都内公立学校の教職員が職務上行った、法令違反等の不適切な行為 (体罰、横領、セク シュアル ・ ハラスメントなど)について、都内公立学校に通う児童 ・ 生徒、保護者の方
- ■通報は、 FAX、メールで受け付けます。東京都教育委員会のホームページに掲載された 通報専用書式をご使用ください。

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/soumu/tsuho/tsuho.htm





とうきょうの教育 第101号 平成26年1月発行

○編集・発行

東京都教育庁総務部教育情報課 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 電話 03(5320)6733 ファクシミリ 03(5388)1726 ○デザイン・印刷 株式会社 イーパワー

暮らしを見つめる! 統計調査 国民の暮らしを見つめ、よりよい社会を実現するために、 総務省統計局では、さまざまな統計調査を定期的に行っています。 安定した「雇用」にも 「家計収支」が 、役立っているんだね! わかるのね! 毎月実施 毎月実施 就業状況や完全失業率など 世帯の収入や支出など「家計収支」を 「雇用」を明らかにする調査で景気判断や 明らかにする調査で 景気動向の分析などに役立っています。 雇用対策の立案に役立っています。 小売物価統計調査仓 毎月実施 四半期ごとに実施 小売価格など「物価」を 個人経営の事業所の「景気」を 消費者物価指数(CPI)、その他 「景気」を知るには とても重要だね! 日本の「物価」が 明らかになるのね! 役立っています。 調査結果はさまざまな場面で活用され、わたしたちの暮らしを支えています。 皆様の個人情報は 統計調査を装った「かたり調査」に ご注意ください 厳重に保護されます 統計調査員がお伺いいたします。ご協力お願いします。 総務省統計局・東京都 http://www.toukei.metro.tokyo.jp/ 統計調査



福祉保健局健康安全部薬務課 03-5320-4515